

朝日放送グループホールディングス株式会社

2017年度 決算説明資料

(平成30年3月期)

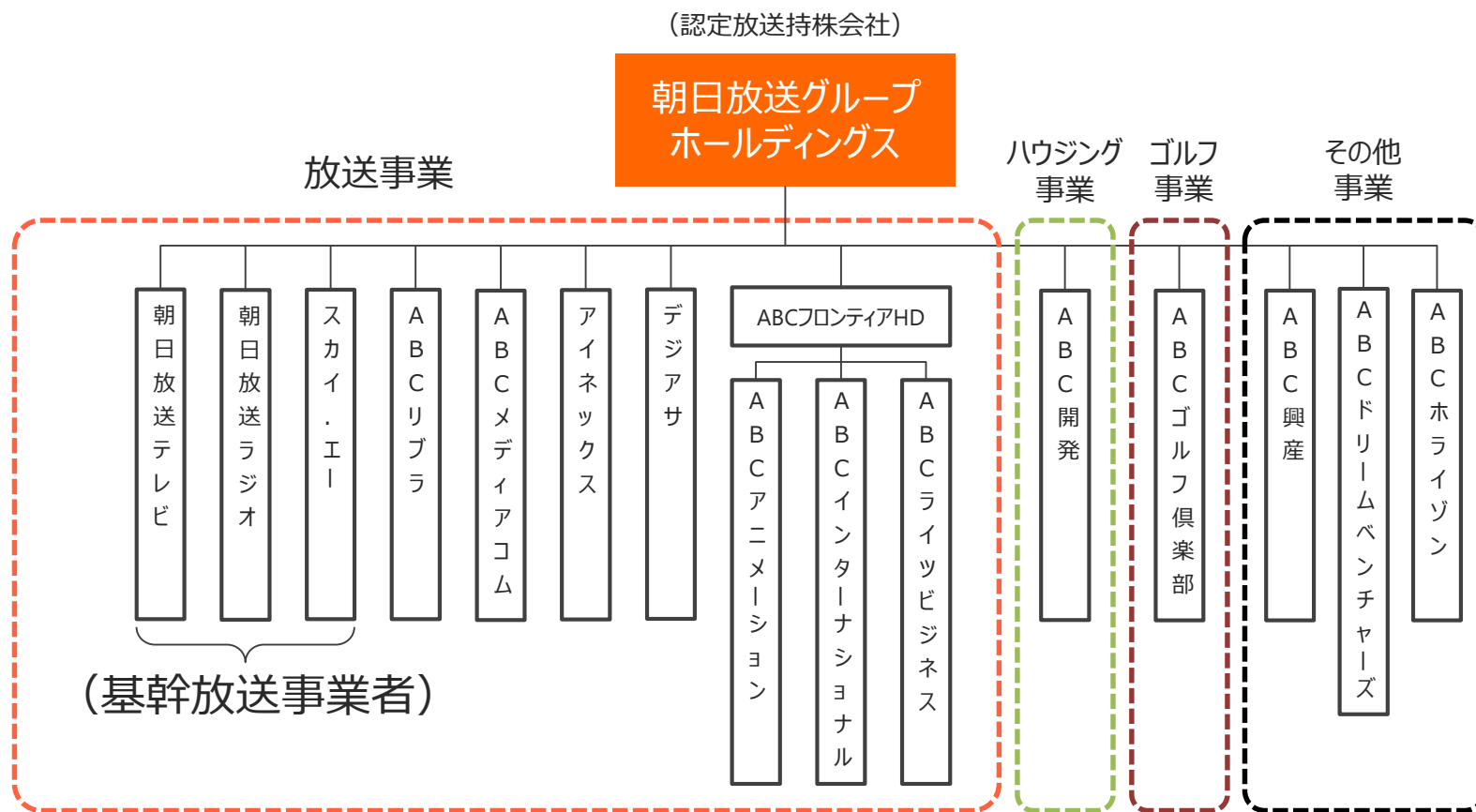
2018年5月18日

ABC

証券コード:9405

新しいグループ体制と 中期経営計画について

認定放送持株会社体制がスタート



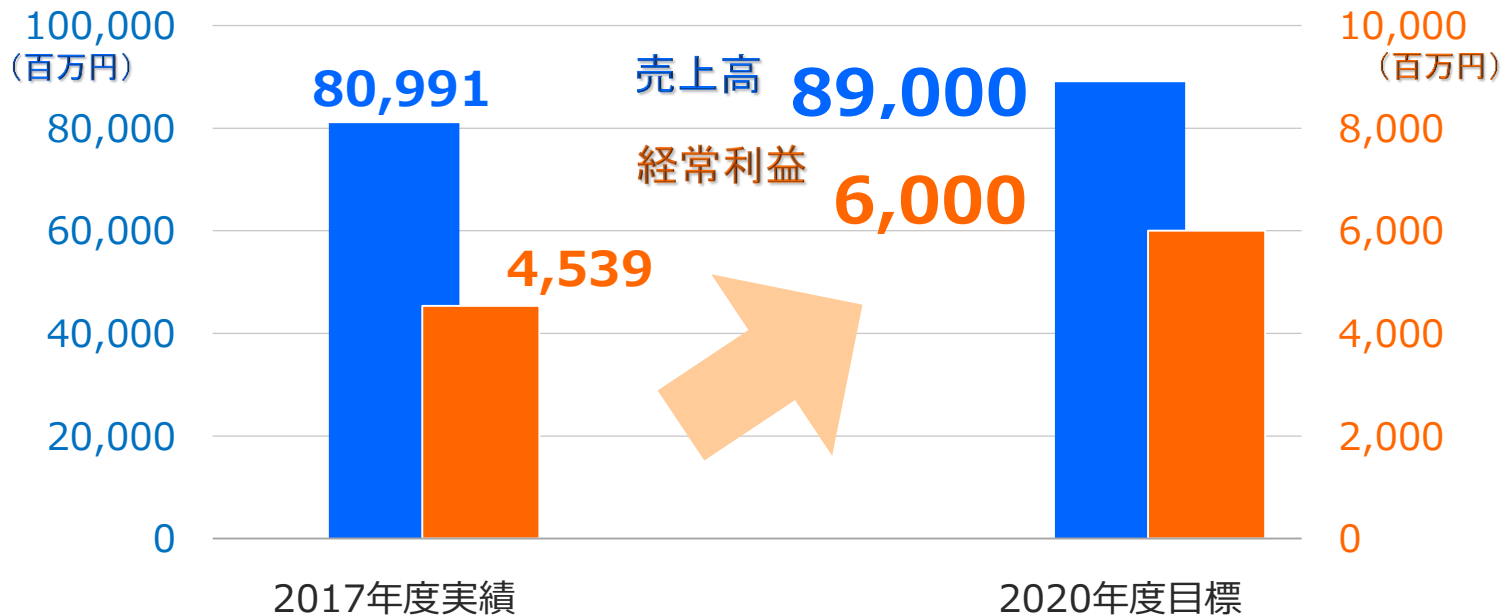
中期経営計画2015-2017 総括

(単位:百万円)

	中計目標数値	2017年度	差異
売上高	83,100	80,991	△2,109
営業利益	4,400	4,250	△150
経常利益	4,700	4,539	△161
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,900	2,691	△209
営業利益率	5.3%	5.2%	△0.1%

- ・ 数値目標は達成できなかったものの、
新メディア・動画配信への対応や海外展開等、
成長に向けた「体制強化」には、一定の手応え

中期経営計画2018-2020「SUNRISE」



- ・2020年度「連結売上高890億円、経常利益60億円」を必達する
- ・グループ成長ビジョン達成のための成長投資(投資枠200億円)を行う
- ・配当性向は、30%以上とする
- ・ROEの改善に務める
- ・連結売上高の3%以上の海外事業を目指す

2020年度:セグメント別 計画数値

(単位:百万円)

放送事業		2020年度	2017年度(実績)
売	上	74,600	68,645
営	業	4,830	3,116
	利益		
ハウジング事業		2020年度	2017年度(実績)
売	上	13,500	11,474
営	業	1,120	1,083
	利益		
ゴルフ事業		2020年度	2017年度(実績)
売	上	900	871
営	業	40	49
	利益		
調整額		2020年度	2017年度(実績)
営	業	△190	—
	利益		

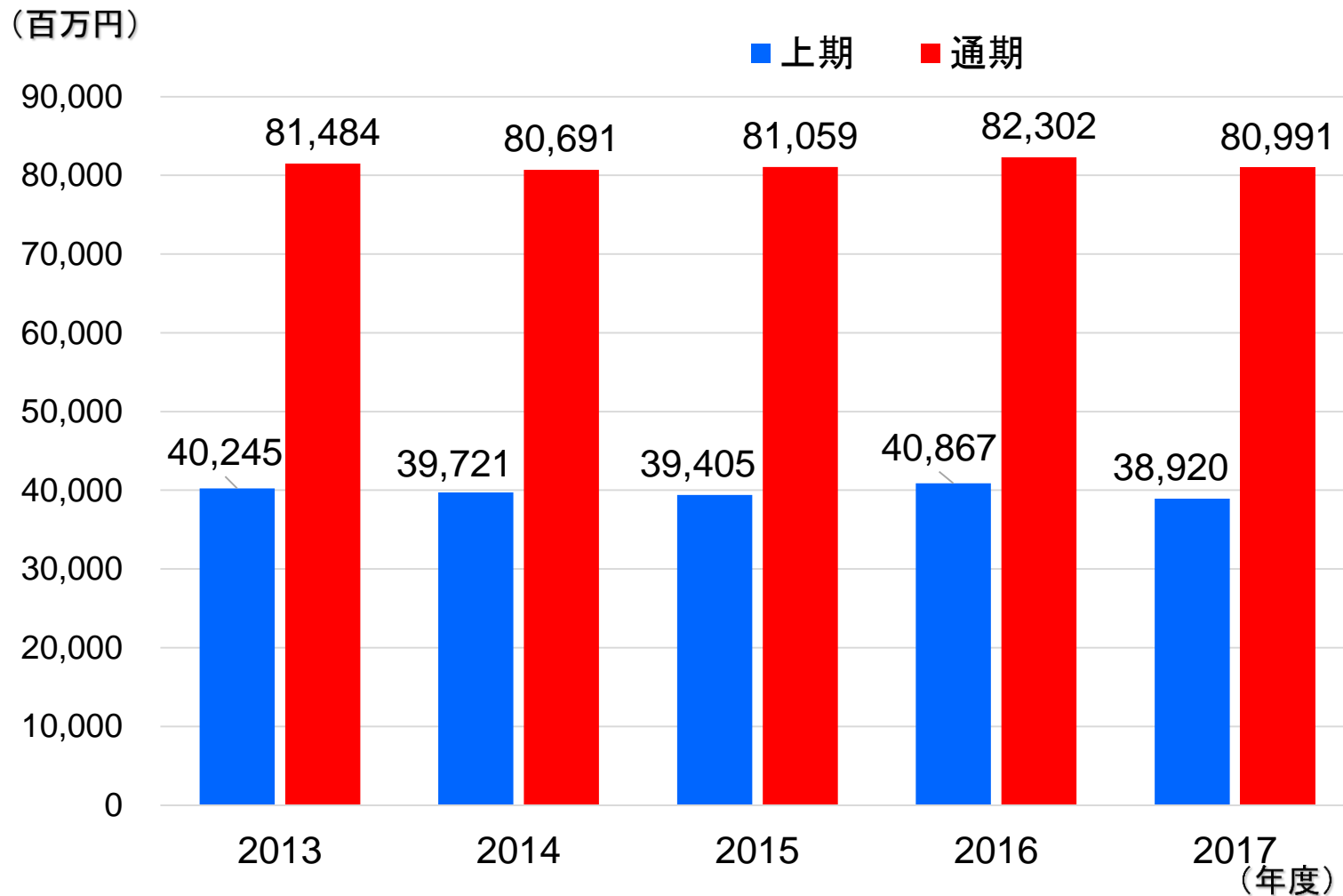
業績と見通し

連結業績

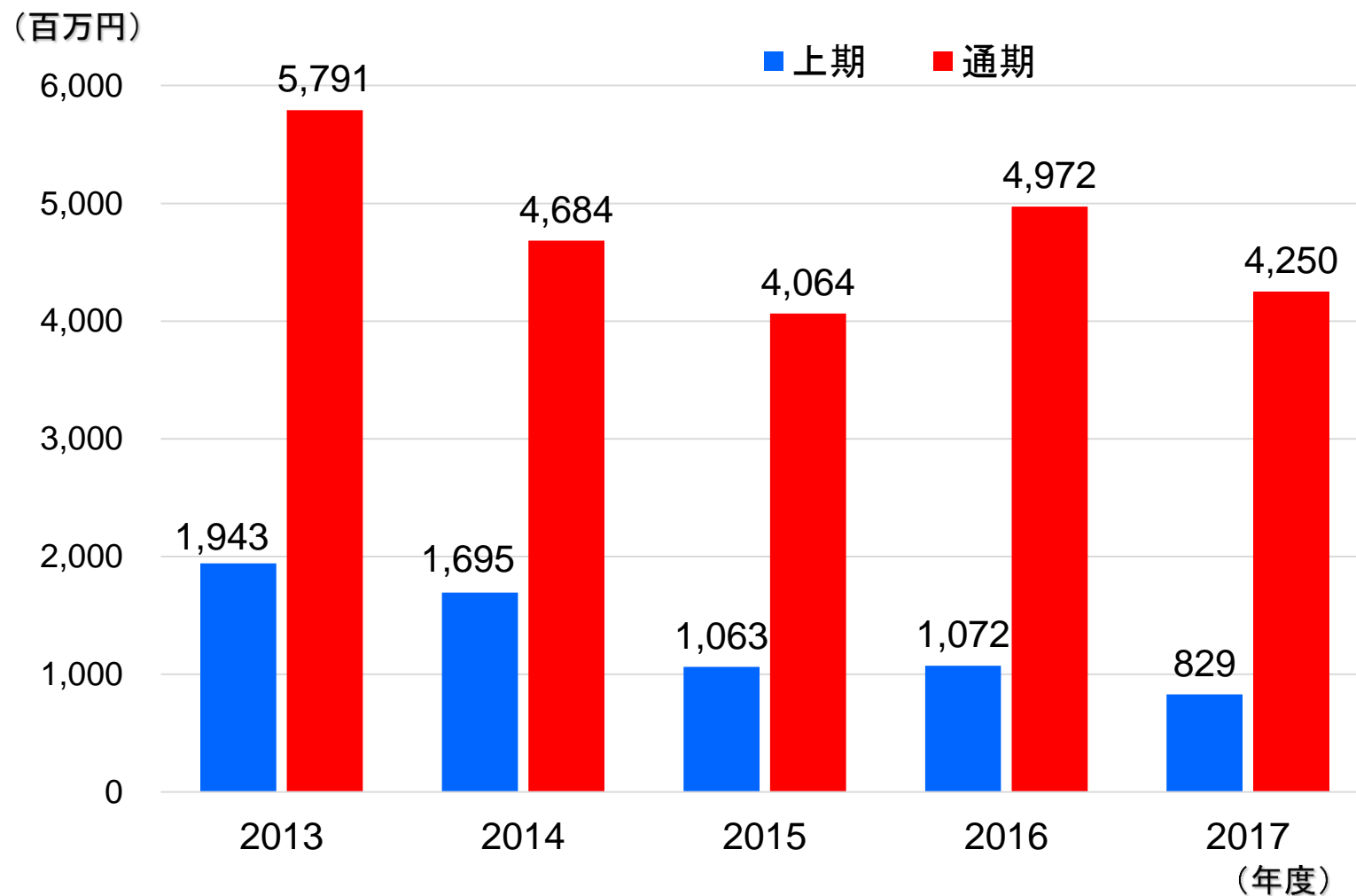
(単位:百万円)

	17年度	16年度	前期比	増減率
売上高	80,991	82,302	△1,310	△1.6%
営業利益	4,250	4,972	△722	△14.5%
経常利益	4,539	5,261	△722	△13.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,691	3,416	△724	△21.2%

過去5年の売上高(連結)



過去5年の営業利益(連結)



セグメント別業績

(単位:百万円)

放送事業	17年度	16年度	前期比	増減率
売上高	68,645	70,568	△1,923	△2.7%
営業利益	3,116	3,809	△693	△18.2%
ハウジング事業	17年度	16年度	前期比	増減率
売上高	11,474	10,924	550	5.0%
営業利益	1,083	1,143	△60	△5.3%
ゴルフ事業	17年度	16年度	前期比	増減率
売上高	871	809	62	7.7%
営業利益	49	19	30	160.7%

朝日放送(個別)業績

(単位:百万円)

	17年度	16年度	前期比	増減率
売上高	62,545	65,130	△2,585	△4.0%
営業利益	2,649	3,485	△835	△24.0%
経常利益	3,022	3,891	△868	△22.3%
当期純利益	2,018	2,867	△848	△29.6%

テレビ放送事業収入(地上波)

<収入>

(単位:百万円)

	17年度	16年度	前期比	増減率
テレビ放送事業収入	57,041	58,264	△1,223	△2.1%

内訳

タイム	ネットワーク収入	13,964	14,684	△720	△4.9%
	ローカル収入	6,004	5,592	411	7.4%
スポット収入		34,923	35,752	△829	△2.3%
番組販売収入		2,149	2,235	△85	△3.8%

放送事業収入(地上波以外)

(単位:百万円)

		17年度	16年度	前期比	増減率
朝日放送 (個別)	ラジオ放送収入	2,637	2,842	△204	△7.2%
	催物収入	1,506	2,497	△990	△39.7%
	コンテンツ関連収入	900	1,071	△170	△15.9%

【グループ会社(注:連結グループ内での内部取引を含む)】

ABC フロンティアHD グループ	コンテンツ関連収入	1,488	※ 914	-	-
スカイA	C S 放送収入	3,122	3,299	△177	△5.4%
AMC	通販事業収入	1,413	1,160	253	21.8%

※フロンティアHDは、16年度は16年7月～17年3月の数字です

ハウジング事業(ABC開発) 増収減益

1:住宅展示場

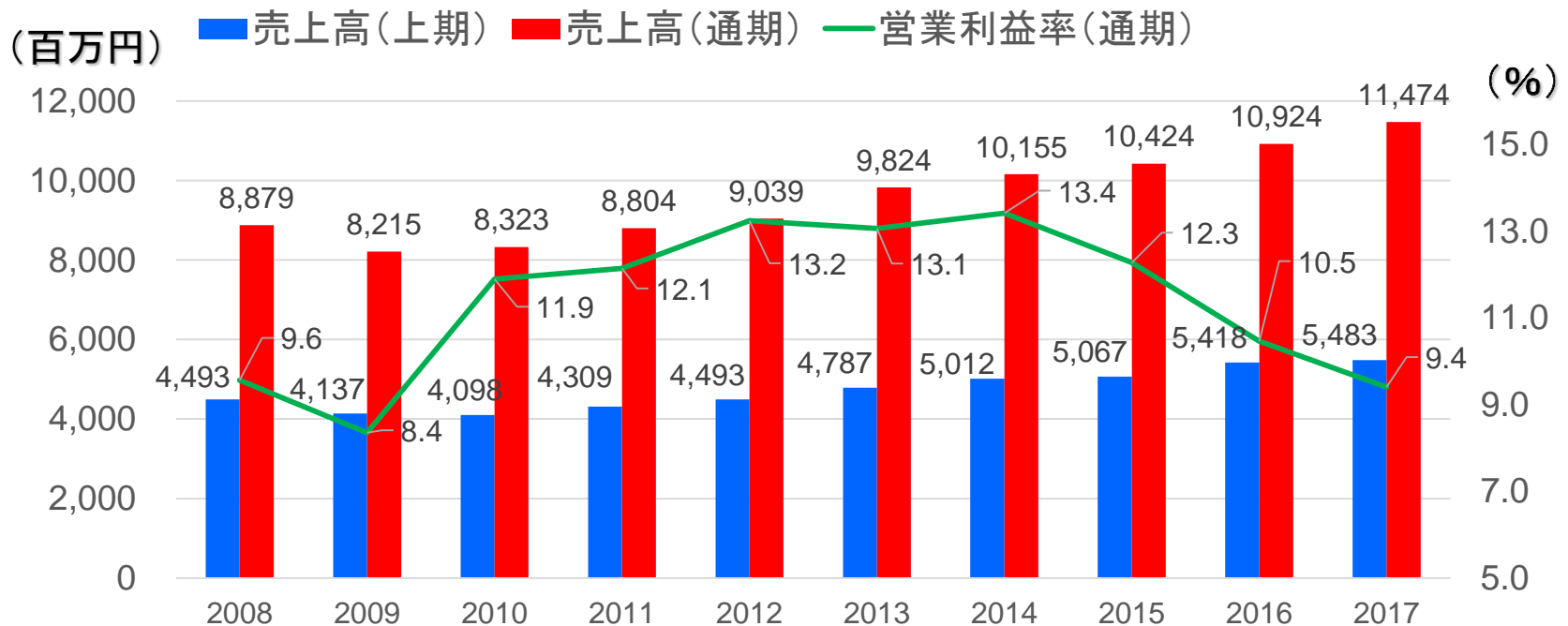
近畿に17会場、関東に9会場を展開し、約400棟のモデルホームを紹介。展示場に出展する住宅メーカーから“出展料収入”を得ることで利益を出す。

去年4月に新・川崎住宅展示場がオープンしたことで当期は増収となり、HDC事業のマイナスをカバー。ハウジング事業全体で増収なった。

2:ハウジング・デザイン・センター(HDC)

「HDC大阪」と「HDC神戸」「HDC名古屋」を展開。“住まいのデパート”として、住宅・インテリアメーカー、リフォーム会社などが出展。“出展料収入”を得る。

当期は、HDC大阪は好調でしたが、HDC名古屋とHDC神戸で一部出展企業の中途解約などがあり、トータルで減収となる。



連結・個別費用

(単位:百万円)

連結	17年度	16年度	前期比	増減率
売上原価	53,005	53,788	△782	△1.5%
販管費	23,735	23,541	194	0.8%
営業費用合計	76,741	77,329	△588	△0.8%

個別	17年度	16年度	前期比	増減率
売上原価	38,600	40,395	△1,795	△4.4%
販管費	21,294	21,248	45	0.2%
営業費用合計	59,895	61,644	△1,749	△2.8%
テレビ番組費	17,682	17,853	△171	△1.0%

連結業績見通し

(単位:百万円)

	18年度	17年度 (実績)	前期比	増減率
売上高	81,000	80,991	8	0.0%
営業利益	2,700	4,250	△1,550	△36.5%
経常利益	3,000	4,539	△1,539	△33.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,700	2,691	8	0.3%

セグメント別業績見通し

(単位:百万円)

放送事業			18年度	17年度(実績)
売	上	高	68,200	68,645
営	業	利	1,900	3,116
ハウジング事業			18年度	17年度(実績)
売	上	高	11,900	11,474
営	業	利	960	1,083
ゴルフ事業			18年度	17年度(実績)
売	上	高	900	871
営	業	利	30	49
調整額			18年度	17年度(実績)
営	業	利	△190	—

※HD化に伴い経営管理費用等の計上を見直したため、前年度との増減率等は記載していません。

テレビ放送事業：収入・費用（地上波）見通し

<収入>

（単位：百万円）

	18年度	17年度 （実績）	前期比	増減率
テレビ放送事業収入	55,600	57,041	△1,441	△2.5%

内訳

タイム	ネットワーク収入	13,600	13,964	△364	△2.6%
	ローカル収入	5,700	6,004	△304	△5.1%
スポット収入		34,200	34,923	△723	△2.1%

※18年度のネットワーク収入は、受託制作収入を除いたもの。

<費用>

朝日放送テレビ 番組費	17,800	17,682	117	0.7%
-------------	--------	--------	-----	------

※18年度の番組費は、番組費＋受託制作番組費の合計。（ラジオからの受託などが加算されている）

放送事業収入(地上波以外)見通し

<収入>

(単位:百万円)

		18年度	17年度 (実績)	前期比	増減率
A フロンティア ホールディングス	B C コンテンツ 関連収入	1,600	1,488	111	7.5%
スカイ A	CS放送収入	3,100	3,122	△22	△0.7%
A M C	通販事業収入	1,500	1,413	86	6.1%
ラ ジ オ	ラジオ放送 事業収入	2,600	2,637	△37	△1.4%

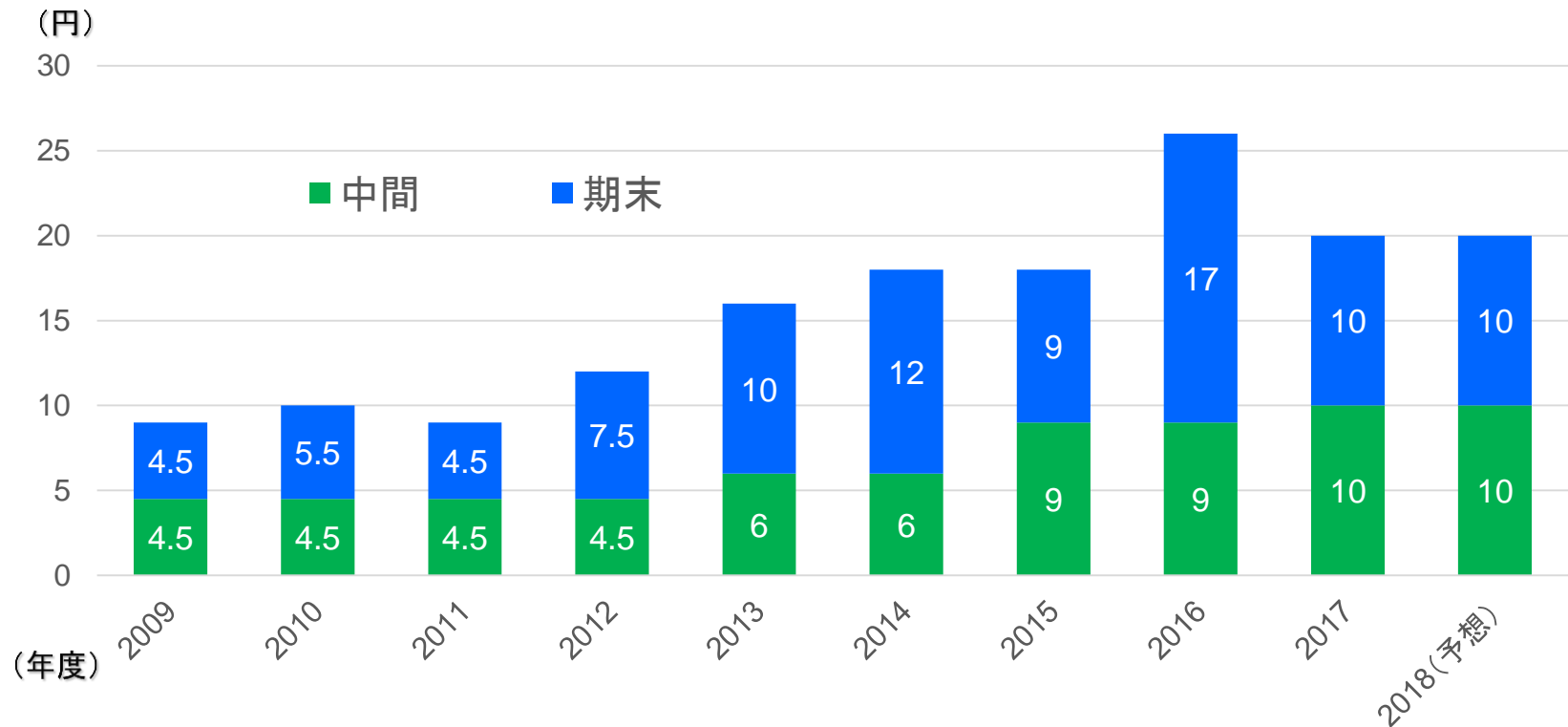
(連結グループ内での内部取引を含む)

設備投資額と減価償却費

	18年度		17年度	
	連結	放送事業	連結	放送事業
設備投資額	41億円	38億円	55億円	30億円
減価償却費	29億円	22億円	30億円	23億円

(億円未満を四捨五入)

配当について



<利益配分方針>

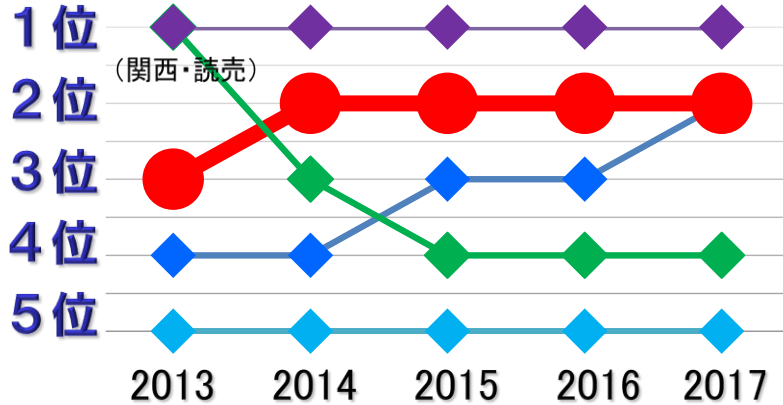
当社は、株主への利益還元を経営上の最重要課題のひとつであると位置づけている。利益の配分については、今後の成長のために適切な投資を行う一方、放送事業者という責任ある立場を踏まえ財務体質の強化・維持を図るとともに、配当性向(連結)が30%を下回らず、かつ安定的、継続的な配当をめざすこととする。

朝日放送テレビの 事業について

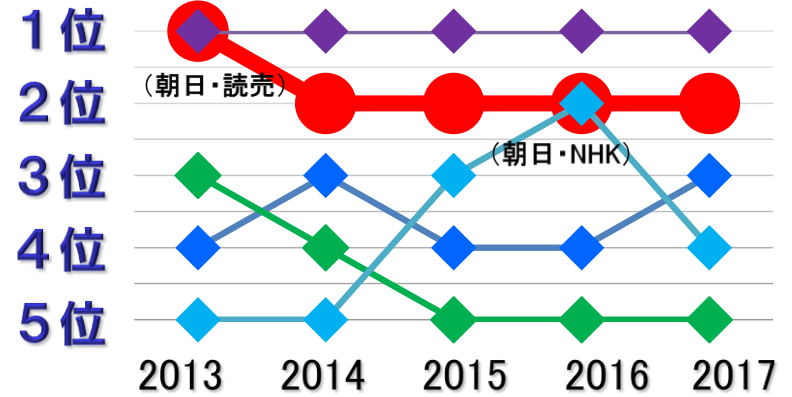
関西地区のテレビ視聴率

全日（6時～24時）

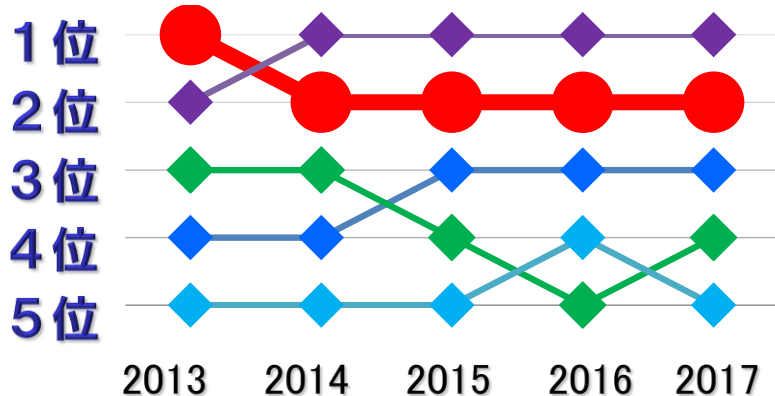
（出典：ビデオリサーチ）



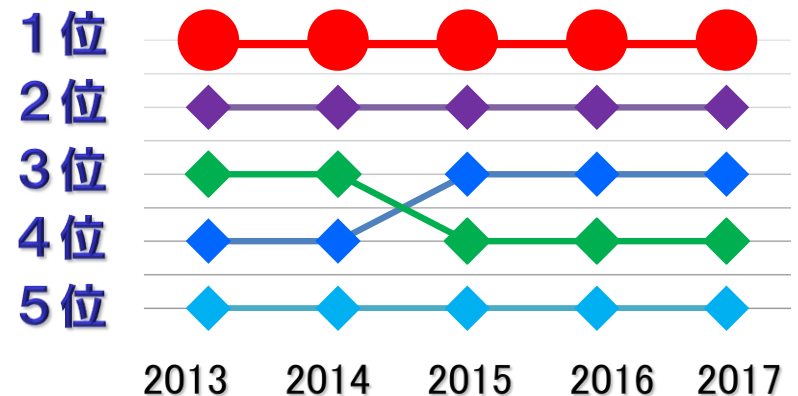
ゴールデン（19時～22時）



プライム（19時～23時）



プライム2（23時～25時）



● 朝日放送(テレ朝系)

◆ 関西テレビ(フジTV系)

◆ NHK

◆ 毎日放送(TBS系)

◆ 読売テレビ(日テレ系)

2017年度 テレビ視聴率(関西地区)

(出典：ビデオリサーチ)(%)

	全日 (6-24時)	ゴールデン (19-22時)	プライム (19-23時)	プライム2 (23-25時)
1	読売テレビ(日テレ系) 8.0	読売テレビ 12.1	読売テレビ 11.9	朝日放送 7.6(-0.6p)
2	朝日放送(テレ朝系) 毎日放送(TBS系) 7.4(前年比-0.2p)	朝日放送 10.8(-0.3p)	朝日放送 11.3(-0.4p)	読売テレビ 7.5
3	* * *	毎日放送 10.7	毎日放送 10.8	毎日放送 5.8
4	関西テレビ(フジTV系) 7.2	NHK 10.4	関西テレビ 9.6	関西テレビ 5.3
5	NHK 5.8	関西テレビ 9.7	NHK 9.1	NHK 2.8

2017年度：特番が高視聴率、全国ネットG帯2番組は堅調

恒例の特別番組は高視聴率



24.0%

(関西地区)



23.8%

(歴代最高)



【G帯全国ネット番組】

「たけしの家庭の医学」

関東・関西ともに

10%超と好調

サンデー
LIVE!!

【サンデーLIVE!!】

昨年秋にスタートした

日曜朝の新番組

視聴率は↗傾向



AbemaTV×ABC 共同制作ドラマ

ハケンの
キャバ嬢・彩華

AbemaTV

毎週月曜 よる10時

朝日放送

毎週日曜 深夜0時40分

【ハケンのキャバ嬢・彩華】

ネットTVと連動したレギュラードラマ

⇒週平均17万再生と好記録

テレビ放送事業収入(地上波)

<収入>

(単位:百万円)

	17年度	16年度	前期比	増減率
テレビ放送事業収入	57,041	58,264	△1,223	△2.1%

内訳

タイム	ネットワーク収入	13,964	14,684	△720	△4.9%
	ローカル収入	6,004	5,592	411	7.4%
スポット収入		34,923	35,752	△829	△2.3%
番組販売収入		2,149	2,235	△85	△3.8%

テレビ放送事業 業績の背景

タイム収入

ネットワーク

減収

- ・「土曜ワイド劇場」が終了
- ・日曜夜8時枠が終了
- ・単発編成番組の単価が低下

ローカル

増収

- ・平日朝、土曜朝の情報番組が**好調**
- ・深夜バラエティ番組前のミニ枠が成立

テレビスポット収入(地上波)

(単位:百万円)

	17年度	16年度	前期比	増減率
第1四半期	8,722	8,692	29	0.3%
第2四半期	8,033	8,267	△233	△2.8%
上期	16,755	16,959	△204	△1.2%
第3四半期	9,402	9,523	△120	△1.3%
第4四半期	8,765	9,270	△504	△5.4%
下期	18,167	18,793	△625	△3.3%
通期	34,923	35,752	△829	△2.3%

テレビスポット収入(地上波:業種別20位まで)

業種	2017年度		2016年度	
	増減率	構成率	増減率	構成率
情報・通信	94.6%	10.8%	129.7%	11.2%
食品	99.2%	9.8%	103.5%	9.7%
自動車	109.3%	8.1%	103.6%	7.3%
薬品・医療用品	95.5%	7.8%	107.5%	7.9%
化粧品・トイレットリー	97.1%	7.3%	98.1%	7.3%
飲料・アルコール飲料	94.7%	6.8%	91.5%	7.0%
金融	85.6%	6.3%	100.2%	7.2%
家電・コンピュータ	96.1%	5.5%	94.9%	5.6%
趣味(映画・ゲーム・音楽など)	90.8%	5.5%	104.7%	5.8%
交通・レジャー	115.8%	5.2%	87.9%	4.2%
住宅・不動産・建設	114.0%	4.5%	110.0%	3.9%
外食・サービス	122.3%	4.2%	84.0%	3.6%
ファッション(衣料・貴金属など)	99.6%	2.9%	97.1%	2.8%
エネルギー・機械・素材	71.3%	2.6%	311.3%	3.6%
官公庁・政治団体	105.0%	2.4%	79.2%	2.3%
出版	114.2%	2.4%	88.6%	2.0%
各種団体(法律事務所など)	80.0%	1.7%	95.3%	2.0%
家庭用品	111.8%	1.6%	84.7%	1.4%
通信販売	98.7%	1.6%	135.3%	1.6%
流通	66.9%	1.5%	76.4%	2.1%
その他	99.4%	1.5%	102.7%	1.5%
合計		100.0%		100.0%

※増減率は前年同期比

テレビ放送事業：収入・費用（地上波）見通し

<収入>

（単位：百万円）

	18年度	17年度 （実績）	前期比	増減率
テレビ放送事業収入	55,600	57,041	△1,441	△2.5%

内訳

タイム	ネットワーク収入	13,600	13,964	△364	△2.6%
	ローカル収入	5,700	6,004	△304	△5.1%
スポット収入		34,200	34,923	△723	△2.1%

※18年度のネットワーク収入は、受託制作収入を除いたもの。

<費用>

朝日放送テレビ 番組費	17,800	17,682	117	0.7%
-------------	--------	--------	-----	------

※18年度の番組費は、番組費＋受託制作番組費の合計。（ラジオからの受託などが加算されている）

放送事業に集中し、選ばれるコンテンツメーカーに

これまで

- ・広告業界の指標：世帯視聴率重視、テレビ広告市場の優位性あった
- ・当社の方針：メインターゲットはファミリー層、地上波テレビ放送を第一に

事業環境の変化

《①：広告業界の指標が変化》

- ・世帯視聴率⇒「個人視聴率」へ
- ・リアルタイム⇒「リアル+タイムシフト」へ
(関東圏で今年4月～)

《②：インターネット市場の急速な台頭》

- 2017年度：ネット広告費1.5兆円を超え
テレビ広告費(約2兆円)に迫る
(電通データより)

これからの朝日放送テレビ「すべてはコンテンツのために」

従来のファミリー層の中でも、U49を重要視する
タイムテーブル改革で、スポットシェアを拡大

- ①朝帯、深夜帯の横並びトップを維持
- ②2018年4月～ 日曜夜11時台に
バラエティ・ドラマ枠を新設

(注：U49：4歳～49歳)

地上波広告収入以外の収益機会を拡大

- ①動画配信の番組数を拡充
- ②大型イベントを企画して収益増
- ③朝日新聞と共同で動画サイトを新設
「#部活ONE！」

2018年度：新番組 & 高校野球100回記念

日曜深夜帯：新バラエティ & 新ドラマ枠 **ドラマ** エル

相席食堂

司会：千鳥

日曜夜11時10分



日曜夜11時35分

高校野球100回記念大会

「嵐」の相葉雅紀さんが、
“熱闘！高校野球100回
スペシャルナビゲーター”に就任。
夏の高校野球を盛り上げます。

応援ソング
「嵐」の“夏疾風”
(なつはやて)

2018年度：放送エリア拡大&イベント盛況



昨年の東海・北陸に加え、
九州朝日放送でも放送拡大



単発番組として高視聴率、
5月27日に放送決定

「ABCフード&スマイルフェス」

(4/23～5/6開催)



・番組と連携して様々な企画を展開し、
ABC本社と周辺で開催

⇒約16万人を集客

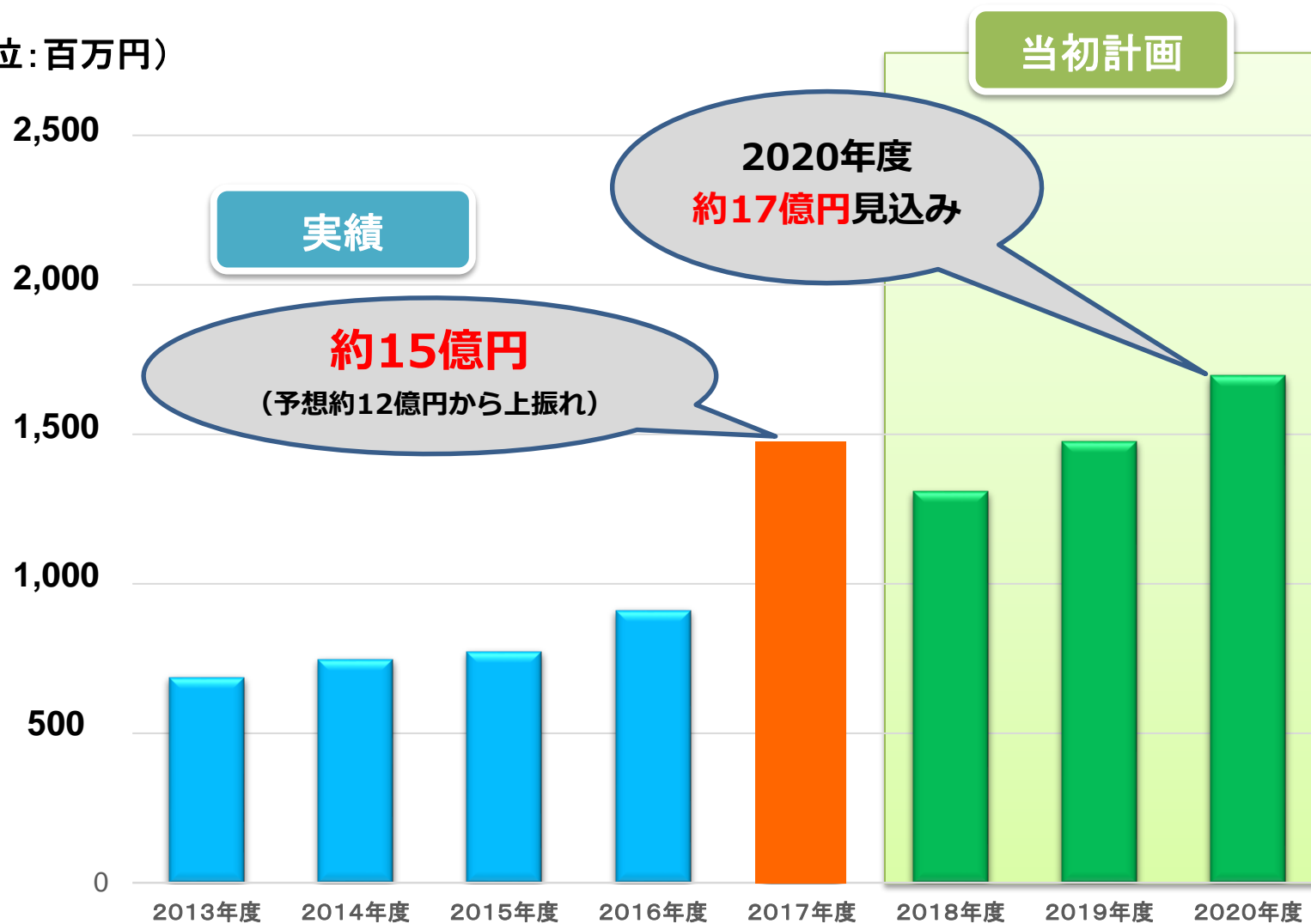
・「フードソニック」全国7都市で開催予定

⇒放送事業外の収益イベントに

・食べログ3.5ポイント以上の人気店が集結！

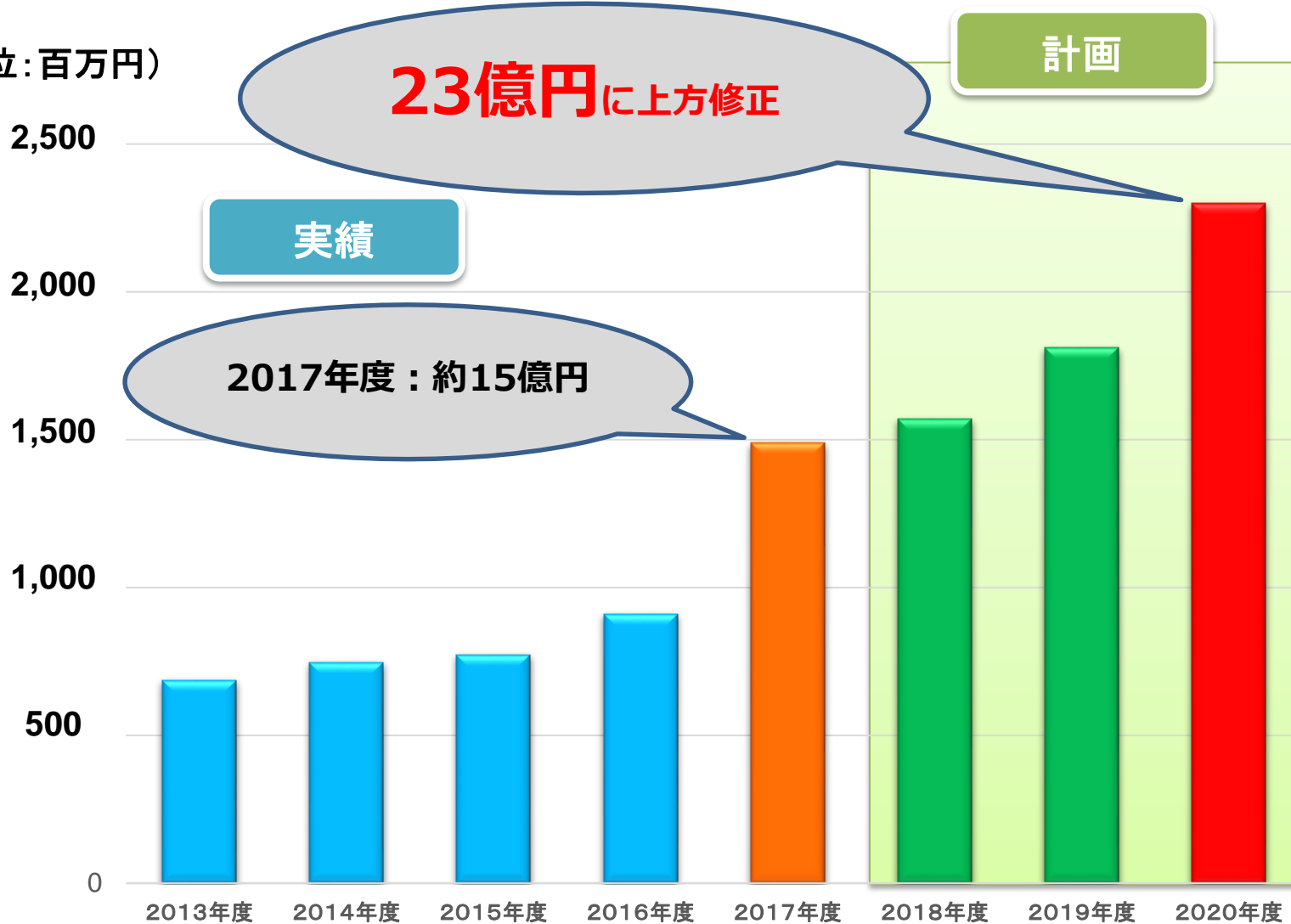
新中期経営計画と 今後の展開について

(単位:百万円)



(注:2016年度は7月~3月までの数値)

(単位:百万円)



(注:2016年度は7月~3月までの数値)

重点1 2018年度：アニメ事業好調で増収見通し



- ・ 2月開始の「HUGっと!プリキュア」の二次利用収入が好調
- ・ 深夜アニメの海外販売が好調



©ABC-A・東映アニメーション



(C)ダーリン・イン・ザ・フランキス製作委員会



- ・ 香港、台湾、中国での配信事業&新規事業
- ・ 国内ホテル・機内上映向け番組販売強化



- ・ 番組アーカイブ販売を強化



- ・ 大手ゲームソフトメーカーのeスポーツ関連イベントの企画・運営を継続

重点2 2020年度に向けてさらに事業拡大へ

住宅展示場

首都圏と関西で、新規会場開拓
(首都圏:+1、関西:+1)

HDC事業

神戸、大阪、名古屋に続く
新規出店を検討

新規事業

住宅展示場、HDC、不動産との
シナジーがある新規事業開拓

重点2 2018年度:ハウジング事業は増収見通し

ハウジング事業	18年度	17年度(実績)
売上高	11,900	11,474
営業利益	960(注)	1,083

(注)18年度からHD化に伴う経営管理に関わる費用を計上

1:住宅展示場



- ・「西宮・酒蔵通り住宅公園」が
4月に満床でオープン
- ・PR費用が減少 ⇒ 増収増益

2:ハウジング・デザイン・センター (HDC)

- ・減収だがコスト見直しで
利益はほぼ横ばい

3.不動産事業

- ・すでに2棟の物件販売が成立し
増収に貢献

重点3 成長投資・海外事業

社長直下にビジネス開発局を設置

- ・東京を拠点とする
- ・社外から積極的に人材を登用し、人員体制を充実

投資ビジネス部

- ・M&A:放送事業の強化・補完から着手
- ・CVC「ABCドリームベンチャーズ」を活用し、グループ企業とのシナジーを追求

3年間の投資枠
200億円

海外ビジネス部

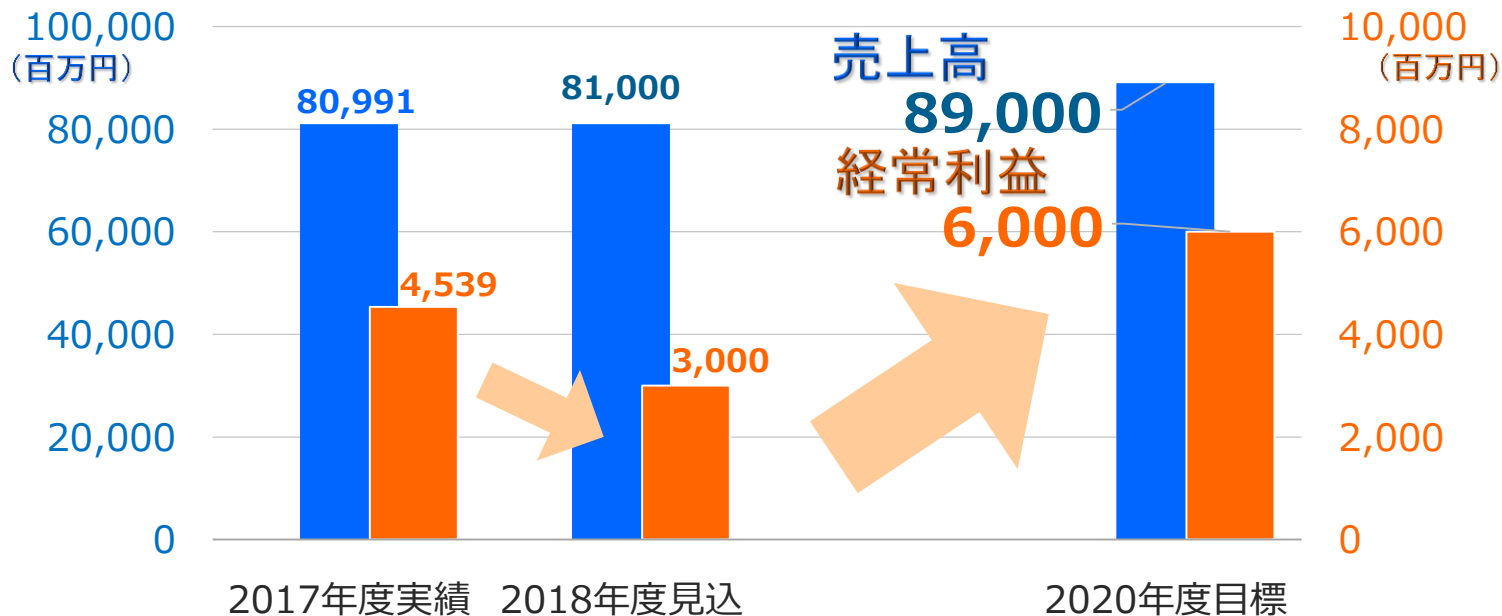
★ 目標:海外事業売上げ 5億円
⇒ 27億円に

- ・グループ会社の海外事業拡大を支援
- ・海外拠点の新規事業を支援
- ・M&Aを含む海外直接投資



【シンガポール:ABC HORIZON】
コンテンツ、広告事業スタート
【ベトナム:MBCスタジオ】
コンテンツ制作のためのJV

中期経営計画2018-2020「SUNRISE」



- ・2020年度「連結売上高890億円、経常利益60億円」を必達する
- ・グループ成長ビジョン達成のための成長投資(投資枠200億円)を行う
- ・配当性向は、30%以上とする
- ・ROEの改善に務める
- ・連結売上高の3%以上の海外事業を目指す

參考資料

グループ会社一覧

★ 連結対象



(株)朝日放送テレビ(株)
テレビ放送事業



(株)朝日放送ラジオ(株)
ラジオ放送事業



(株)スカイ・エー
CS放送事業



(株)エー・ビー・シーメディアコム
通信販売業務、ラジオ番組制作、音楽出版



(株)エー・ビー・シーリブラ
TV番組企画・制作、映像の保存・管理



(株)ABCフロンティアホールディングス
(株)ABCアニメーション
(株)ABCインターナショナル
(株)ABCライツビジネス
の経営管理、ライツ管理、新規事業開発



(株)ABCアニメーション
アニメコンテンツの企画・製作、
ビデオグラム販売、海外販売、物販など



(株)ABCインターナショナル
番組販売、フォーマット販売など
海外に関する収益事業



(株)ABCライツビジネス
パッケージ販売、物販事業、
ライセンス事業、キャラクター事業



株式会社 デジアサ

(株)デジアサ
デジタルコンテンツ制作、字幕制作



株式会社 アイネックス

(株)アイネックス
制作技術、ポスト・プロダクション



エー・ビー・シー開発(株)
総合住宅展示場運営、HDC運営、
保険代理店業、広告代理店業



(株)ABCゴルフ倶楽部
ゴルフ場運営



ABCドリームベンチャーズ(株)
コーポレート・ベンチャー・キャピタルの運営



ABC HORIZON PTE. LTD
(本社:シンガポール)
海外でのビジネス調査、
新規事業開発及びビジネスサポート



(株)エー・ビー・シー興産
警備保安業務、施設管理業務

セグメント別 売上高 (2017年度連結売上)

ハウジング事業

115億円



ゴルフ事業



ABCゴルフ倶楽部

9億円

連結売上高
810億円

放送事業

686億円

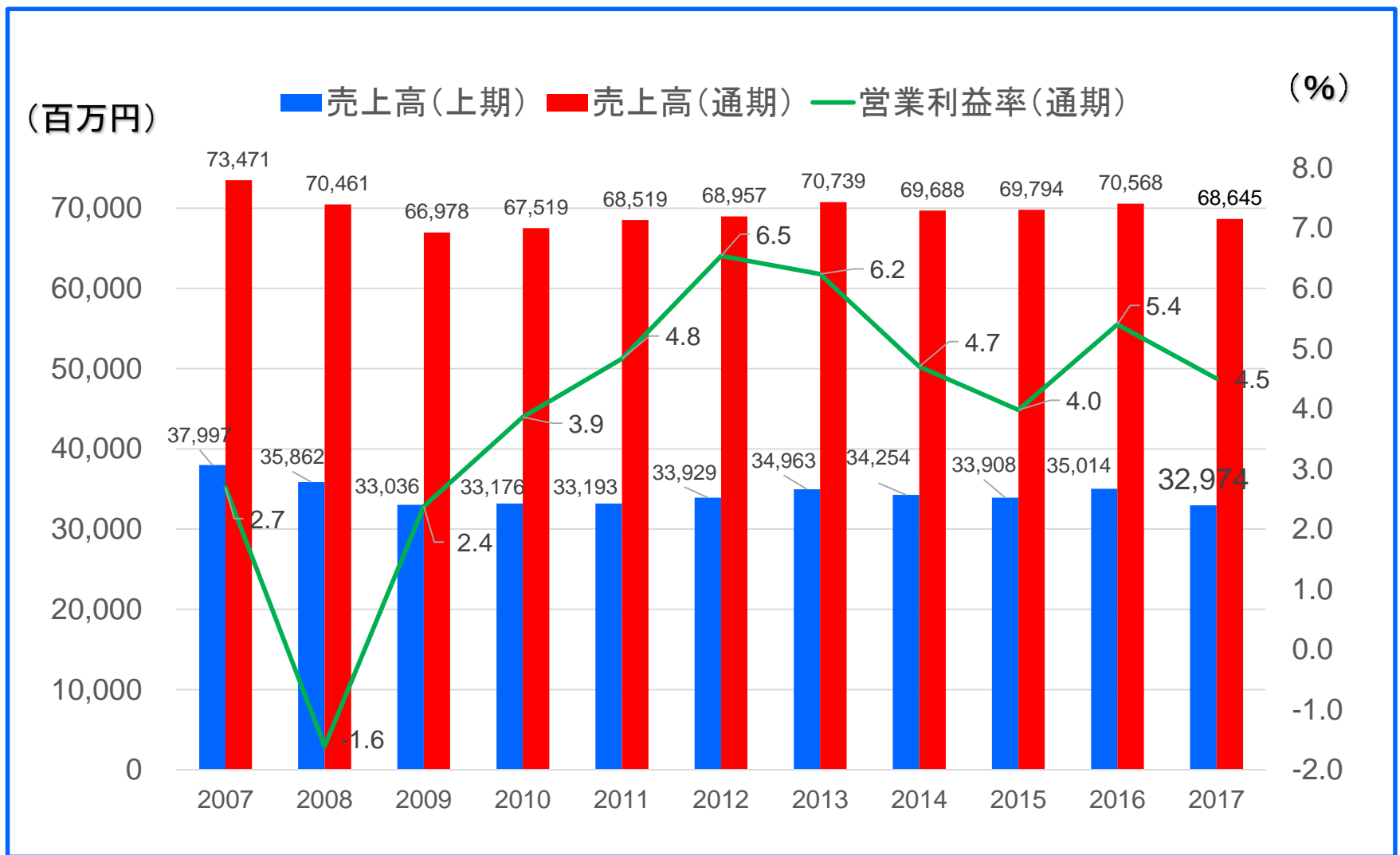
ABC テレビ

ABC ラジオ

スカイA

ABC LIBRA

“放送事業”営業利益率の推移

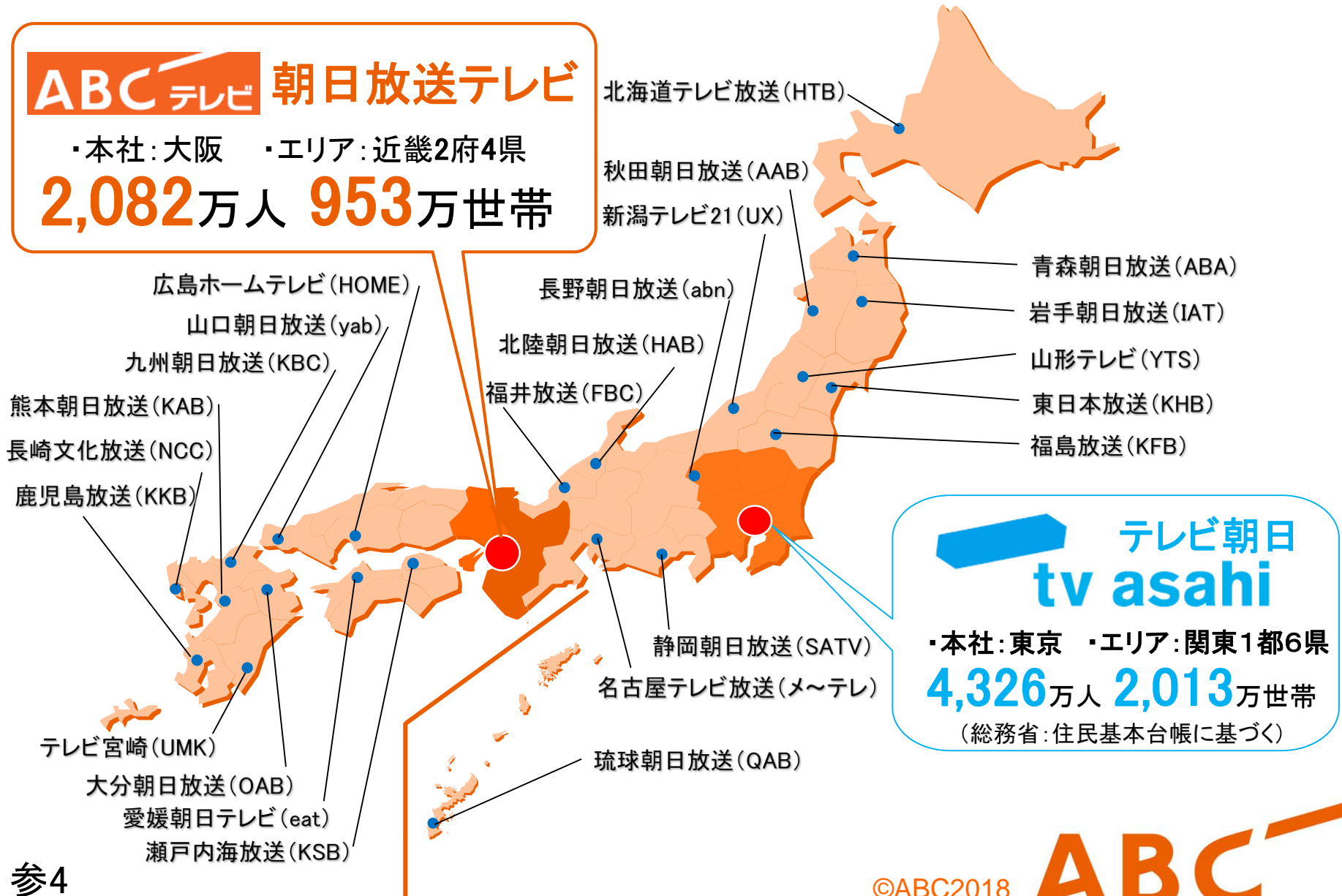


テレビネットワーク

ABC テレビ 朝日放送テレビ

・本社:大阪 ・エリア:近畿2府4県

2,082万人 953万世帯



朝日放送テレビが放送する主な番組



「朝日放送」制作
全国ネット番組



「朝日放送」制作
ローカル番組



「テレビ朝日」等
制作の番組

自社制作率: 34.0%

テレビ事業収入の種類と仕組み

	タイム 番組提供スポンサーを対象とするセールス 「この番組は〇〇の提供でお送りします」	スポット
期間	原則2クール(6カ月契約)	設定自由
単位	30秒から	15秒から
放送エリア	全国ネットもしくはローカル(各局エリア)	ローカル
予算	2クール(6カ月)固定料金	キャンペーンごと

(注1) 全国ネットのタイム収入について
全国ネット番組は1番組あたりの収入が多い一方で、「番組制作費」に加え、系列各局の電波を借りるための「電波料」が必要なため費用も高む。

(注2) スポットの収入について
放送時間の自由度が高いため、その時々のスポンサーのニーズに合わせるケースも多い。
スポットの価値は、視聴者数(HUT)×視聴率で割り出され、視聴率によって大きく変動する。
「利益」への貢献度が高い。

お問合せ先/本資料に関するご注意

本資料は、事業内容等に関する情報提供を目的としており、当社への投資を推奨するものではありません。また、本資料には当社および当社の関係会社の計画、見通し、目標、予想数値等の、将来に関する記述がふくまれている場合がございますが、これらは現時点で入手可能な情報に基づく判断及び仮定に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、将来における実際の業績は、今後の事業環境、経済状況、金融市場の状況、その他の様々な要因により、上記将来に関する記述の内容と大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

お問合せ先

The logo for ABC, consisting of the letters 'ABC' in white on an orange background.

朝日放送グループホールディングス
総務局 総務部

電話番号：06-6458-5321(代) ファックス：06-6454-1111

会社情報サイト <https://corp.asahi.co.jp>

当社IRサイトでは、決算短信、有価証券報告書など
株主・投資家の皆様のための更に詳しい情報をご覧いただけます。